

元気で明るい大和町



(大和町保育所)

6月定例会

(会期 6月14日～17日)

内容

補正予算、人事案件を慎重に審議しました。
一般質問は13人の議員が、町の対応や考えを問いただしました。

全議案可決 6月定例会での審議内容

補正予算	結果	賛:反
一般会計	可決	17:0
国民健康保険特別会計	可決	17:0
介護保険特別会計	可決	17:0
その他	結果	賛:反
固定資産評価委員の選任	同意	16:0
人権擁護委員の選任	適任	17:0

一体100万円

議員 まほろばホールに100万円のブロンズ像を購入するが、どこに展示するのか。
生涯学習課長 2階の佐藤忠良ギャラリーを予定している。
議員 ギャラリーへの入館者が年間230名と少ない。もっとPRしては。
生涯学習課長 忠良氏の追悼展として、幅広くPRしていく。

被災児童生徒の心のケア

議員 メンタルケア補助員は、どういった方を予定しているのか。
教育総務課長 子供の悩みなどを聞いて対応する仕事なので、保育士や教員の資格を持った方を優先に選考しなければならぬと考えている。
議員 被災した児童を、どうケアするのか。
教育総務課長 被災を受けたことを思い出させないように、いくらかでも子どもたちの心が和らぐような対応を取っていきたい。

皆と同じにしてあげて

議員 運動会で、違う運動着を着ている子どもがいた。被災地から来た児童だとすぐにわかる。子どもの気持ちを考えては。
教育総務課長 被災児童への運動着などは、日本ユニセフ協会の協力をいただき配付している。



佐藤忠良ギャラリー



震災なんかに負けないぞ!



(吉田小学校)

ガレキ処理は地元業者へ

議員 大震災によるガレキ4500トンを民間委託することだが、どう決めるのか。
環境生活課長 町で競争入札を行う。

議員 仮復旧を、地元業者に忙しい中でもやっていただいた。恩返しという気持ちで地元業者をお願いをしては。

副町長 指名入札と随意契約で相当の本数がある。地元業者のご協力をいただきながら、早い復旧を目指したい。

対応がなぜ遅い

議員 仙台市は国庫補助で半壊までの家屋の解体撤去事業をとくに進めている。本町では、なぜ遅れているのか。

環境生活課長 当初、津波被害の大きい地域と、内陸では取り扱いに違いがあった。その後、内陸であっても全壊、大規模半壊を国費で撤去しようということである。半壊の取り扱いは、要綱を整備し検討する。

議員 仙台市は市内の業者に指名している。本町でも町内の業者に平等に渡るようにしては。

環境生活課長 今後、協議する。



早期に処理を

情報を敏感にキャッチ

議員 国からの情報が遅れて入ってくるが、各課の課長もアンテナを高くし、いち早く情報を取り入れないと、後手後手に回ってしまふ。

町長 国の考え方、示し方の情報が遅い。今回の件も、沿岸部はどうしても片づけなければならぬので、仙台市は先行して半壊までやった。本

町の場合は、そういった対象ではないので、少し遅れた。被災された方に対し申しわけなかったと思っている。これまで後手になったところもあるので、しっかりやっていきたい。

どうやって決めるの

議員 解体業者をどう決めるのか。

副町長 それぞれの個人の住宅なので、被災された方の意向を聞き、参考にしながら施工業者を決定したい。

議員 実際、大きく壊れたのに半壊とみなされた家屋もある。大規模半壊と半壊の差は。

環境生活課長 被災家屋の状況があるので、申請された被災者の方から内容を伺い、調査して審査する。

基準は同じか?

議員 松島町は損壊家屋等の処理で、建物が全壊・大規模半壊・半壊・さらに事務所・店舗・作業場、ブロック塀などとしている。本町は他の自治体と範囲が違うのではないか。

町長 各市町村によって独自の上乗せをしている所もある。